



証券コード
6918

AVAL DATA CORPORATION

A'VALue+

株式会社アバールデータ

1. 会社概要

2. 2018年3月期 連結業績報告 [2017年4月1日 ~ 2018年 3月31日]

3. 2018年3月期 個別業績報告 [2017年4月1日 ~ 2018年 3月31日]

4. 2019年3月期 業績予想 [2018年4月1日 ~ 2019年 3月31日]

*2019年3月期より個別決算に移行

5. 今後の展開

2018年5月21日



証券コード
6918

 **AVAL DATA CORPORATION**

A'VALue⁺

1. 会社概要



私たちは、お客様に「価値 (value) 」を提供し「信頼」を獲得します。

株式会社アバールデータ

本社/町田事業所 東京都町田市

工場/厚木事業所 神奈川県厚木市

設立 1959年8月

資本金 23億5,409万円

従業員 175名

ISO9001認証取得（1995年） / ISO1401認証取得（2001年）

土地面積 6,426m² (町田 1,977m² / 厚木 4,449m²)

延床面積 6,934m² (町田 2,957m² / 厚木 3,977m²)



本社/町田事業所



工場/厚木事業所

1959(昭和34年)		応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社（東京・渋谷区）を設立
1979(昭和54年)		初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表
1987(昭和62年)		自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立
1989(平成 元年)		社名を「株式会社アバールデータ」に変更
1991(平成 3年)		現 東証JASDAQへ株式公開
2002(平成14年)		光を使った高速通信モジュールの開発、販売開始
2011(平成23年)		カメラ高速通信規格CoaXPress製品開発、販売開始
2013(平成25年)		「医療機器製造業許可：一般」の許可取得
		イーソル株式会社と超高速データ処理エンジン&関連ソリューション開発で協業開始
2014(平成26年)		カラー光切断法による3次元形状測定システム、開発
		(株)フィックスターズと業務資本提携
		シーシーエス株式会社と「卓上型高速・高分解能カラー3Dスキャナー」共同開発
2015(平成27年)		近赤外線カメラ開発、販売開始
2016(平成28年)		東京エレクトロンデバイス(株)との業務資本提携
2017(平成29年)		アバール長崎の株式の一部を東京エレクトロンデバイス（株）に譲渡
2017(平成29年)		(株)Phoxterとの業務資本提携
		(株)AOTとの業務資本提携

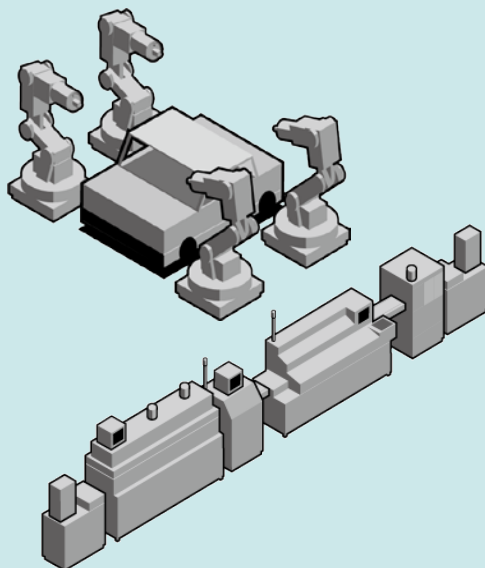
アバールデータは
工場などで使われる装置へ**組込む**
モジュール（部品）を提供しています。

アバールデータ製品



高信頼/長期供給設計

工場に設置される装置



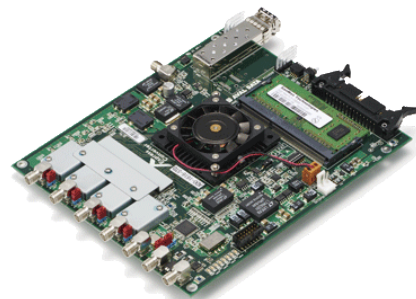
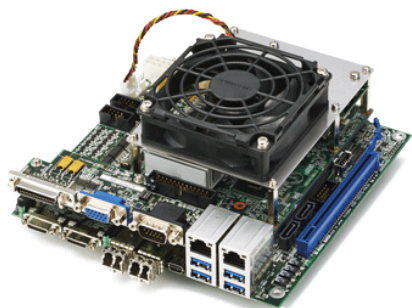
市場のさまざまな製品



日本のモノづくりの縁の下の力持ち

組み込みモジュール

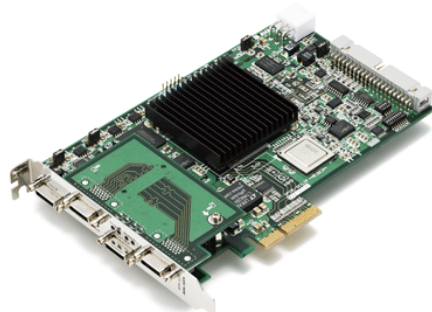
組み込み分野で業界を
リードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機
で使用されます。

画像処理モジュール

国内トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に
使用されます。

計測通信機器

産業用通信で最高速



機器間の高速通信に使用されます。



FPGAアクセラレータとしてデー
タセンター等で使用されます。

「超高速」がキーワード



3つのノウハウを組み合わせ
高速・最適化されたシステム設計が得意

組み込み

デジタル信号／アナログ信号に精通

FPGAの高度な設計ノウハウを保有

※FPGA (Field Programmable Gate Array)
回路構成の書き換えが可能なロジック・デバイス

長年にわたる組み込み用ソフトウェアの開発



画像処理

画像取込みボードでは**国内トップクラス**

近赤外線カメラのシリーズ化

各種カメラとの**豊富な接続実績**

3次元計測で独自アルゴリズムを保有

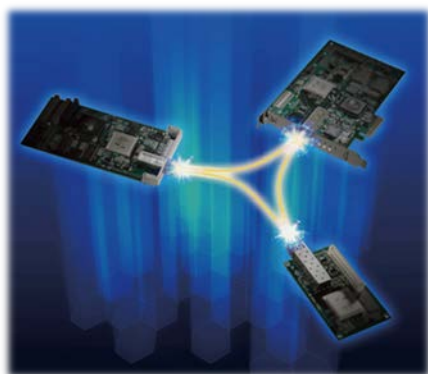


超高速通信

光通信の**独自ノウハウ**を保有

医療、検査などの様々な分野に**適応可能**

最先端の高速デバイスにも**十分な速度**



自社工場

設計と製造が一体となった総合品質

出荷後のトレーサビリティ（追跡調査可能）

少量多品種の対応



厚木工場製造ライン





証券コード
6918

 **AVAL DATA CORPORATION**

A'VALue⁺

(連結)

2. 2018年3月期 連結業績報告

[期間：2017年4月1日～2018年3月31日]

アバール長崎株式譲渡にともなう業績への影響について

2017年7月1日にて、アバール長崎の一部株式を東京エレクトロンデバイス（株）に譲渡いたしました。

● 連結決算

① アバール長崎は第1四半期のみ連結対象

アバール長崎	1Q			
アバールデータ	1Q	2Q	3Q	4Q

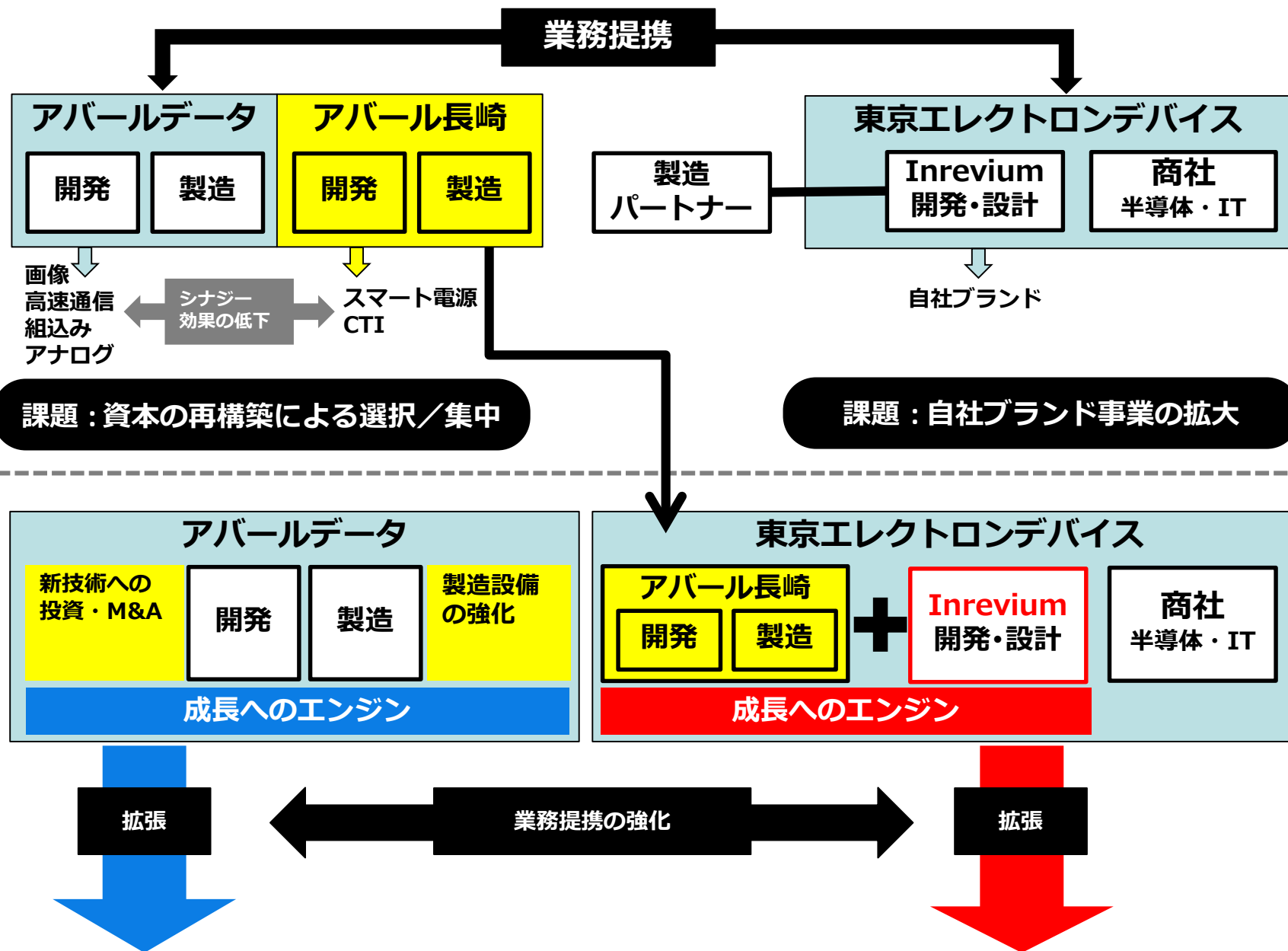
② 純利益への影響 株式譲渡益にともなう税負担を中間期で計上

第1四半期にて、株式譲渡にともなう繰延税金負債のため
法人税等調整額、約3億円を計上

● 個別決算

① 株式譲渡益（特別利益）約930百万円を中間期で計上

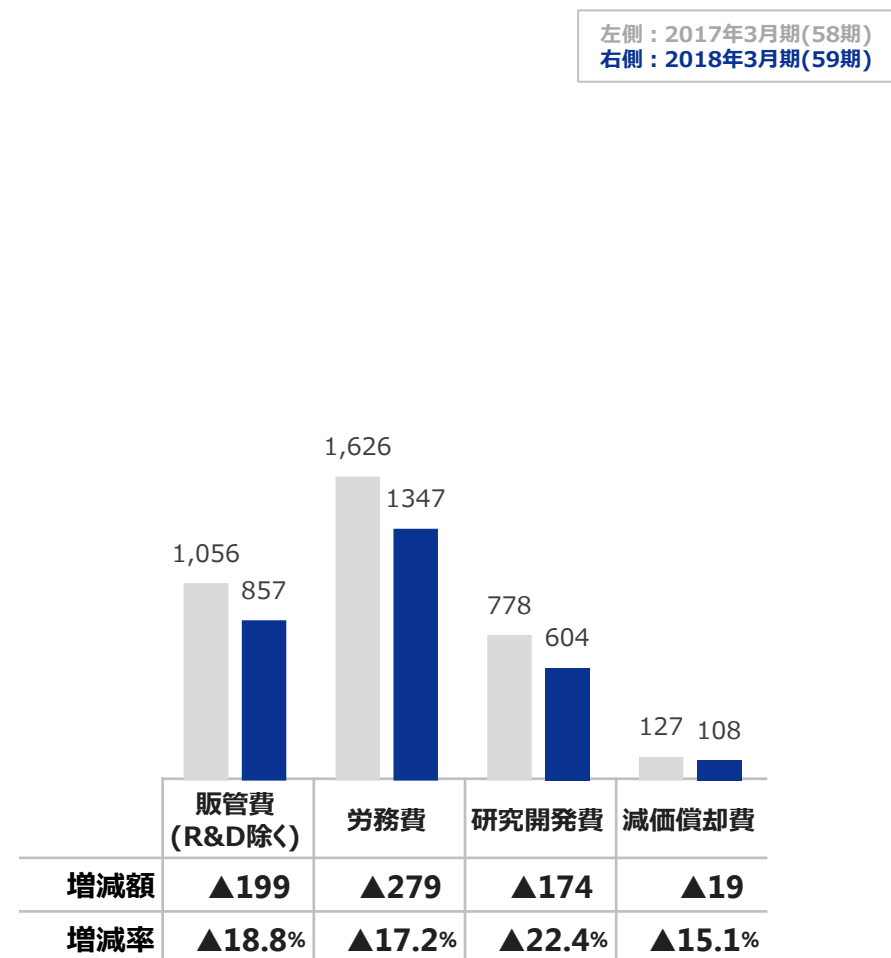
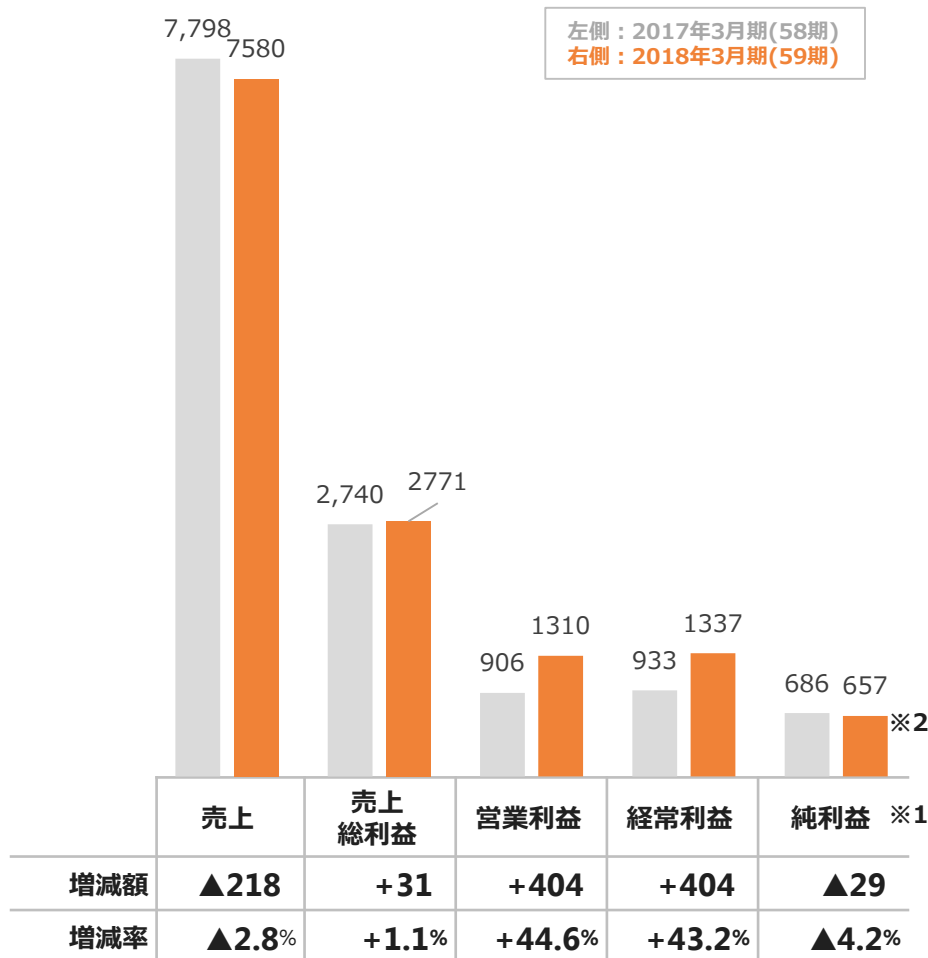
● 2019年3月期（第60期）からは個別決算となります。



前年対比

売上・利益

経費

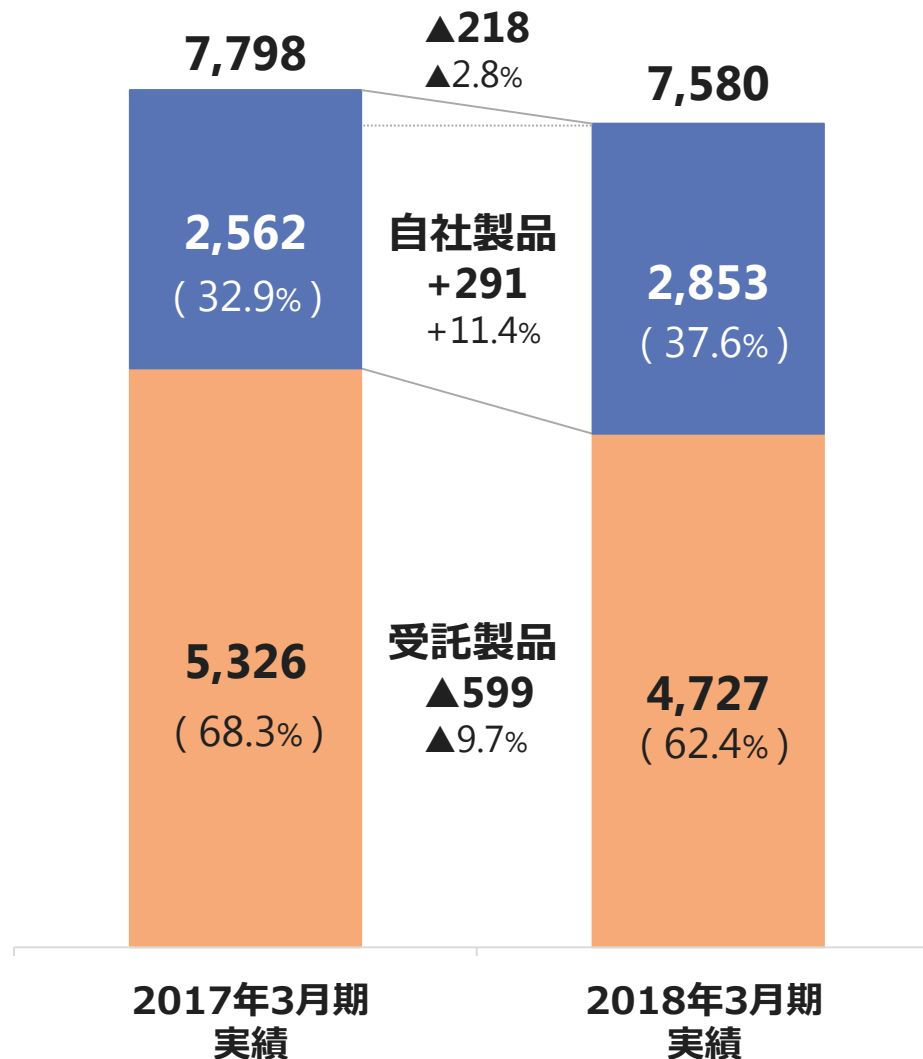


※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 アバール長崎株式譲渡にともなう法人税等約3億円を計上

上段：増減額
下段：増減率

グラフ内の()はセグメント別
売上の構成比



2019年3月期は個別決算に移行いたします。

セグメント	品目	2018年3月期 (実績)	
		売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	455	+17.9%
	画像処理モジュール	1,453	+45.6%
	計測通信機器	738	▲21.3%
	自社製品関連商品	207	▲13.8%
	小計	2,853	+11.4%
※1	セグメント利益	958	+62.1%
受託製品	半導体製造装置関連	3,885	+12.5%
	産業用制御機器	459	▲46.6%
	計測機器	383	▲58.6%
	小計	4,727	▲9.7%
※1	セグメント利益	844	▲1.6%
売上合計		7,580	▲2.8%
営業利益		1,310	+44.6%
経常利益		1,337	+43.2%
親会社株主に帰属する当期純利益		657	※2 ▲4.2%

※1 セグメント利益合計1,802百万円と営業利益1,310百万円との差額492百万円はセグメントに属さない全社費用（一般管理費）

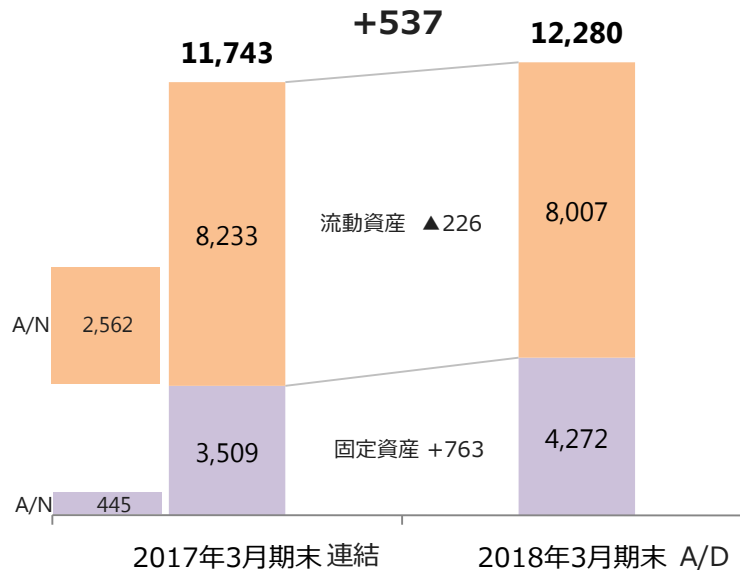
※2 アバール長崎株式譲渡にともなう法人税等約3億円を計上

◎自己資本比率 78.5 % (2.8 ポイントアップ)

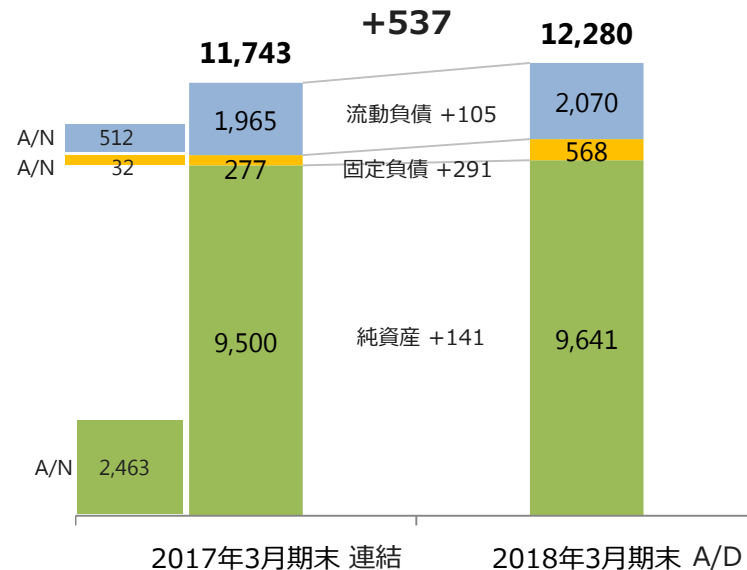
A/D:アバールデータ

A/N:アバール長崎

資産の部



負債及び純資産の部

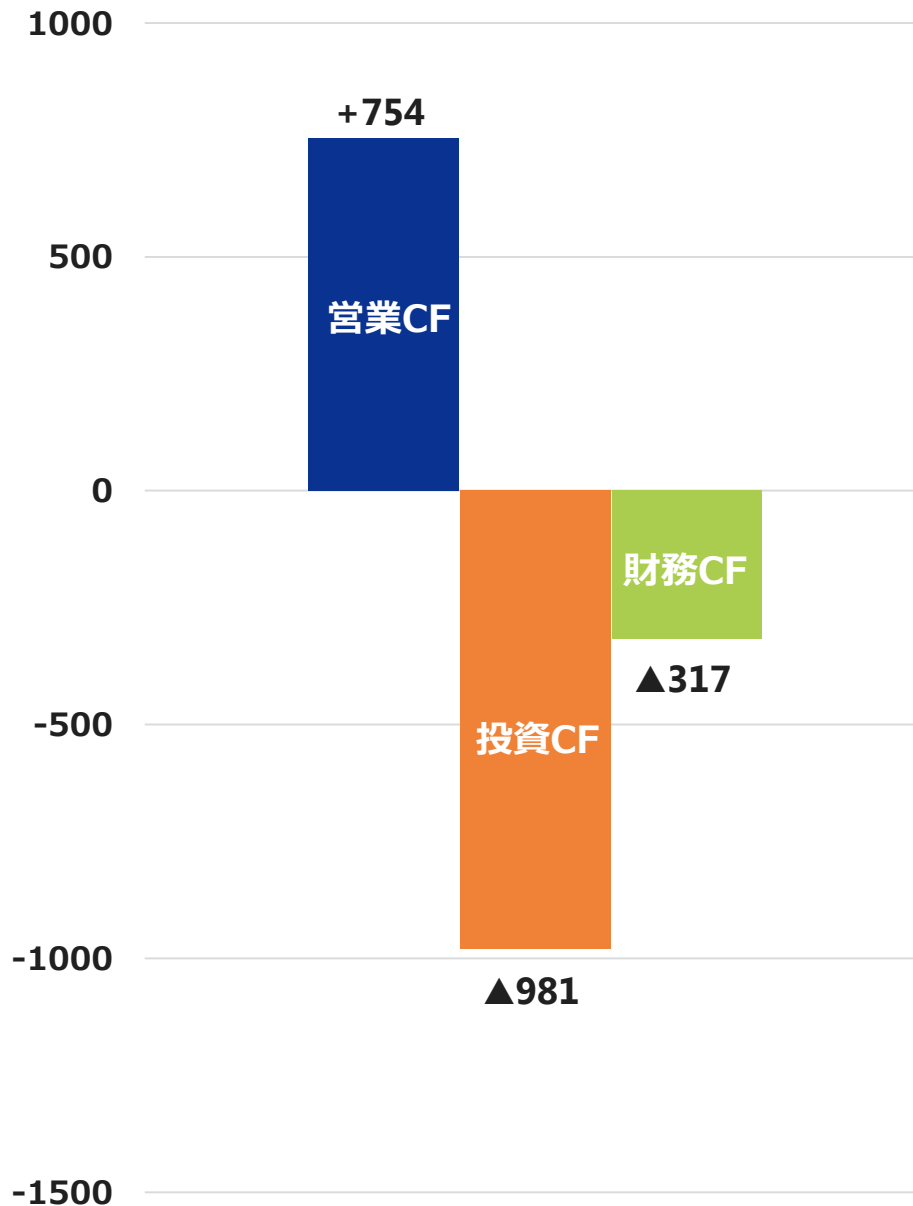


主な増減

流動資産	▲226
現金・預金	+56
受取手形・売掛金・電子債権	▲52
棚卸資産	▲197
固定資産	763
投資有価証券	+1,103
土地・建物	▲207

主な増減

流動負債	+105
未払法人税等	+355
支払手形・買掛金	▲201
固定負債	+291
繰延税金負債	+325
長期借入金	+53
退職給付引当金	▲79
純資産	+141



主なキャッシュフロー項目

営業活動によるCF 754

税金等調整前当期純利益	+1,267
売上債権の増加	▲248
棚卸資産の増加	▲478
未払金・預り金の増加	+229
法人税等の支払い	▲307

投資活動によるCF ▲981

定期預金の預入差額	▲800
子会社株式売却収入	+1,064
子会社の現金等の除外	▲796
固定資産の取得	▲366

フリーCF ▲227

財務活動によるCF ▲317

E-Ship借入金の入金・返済差額	+47
E-Ship自己株式の売却	+57
当社株式配当金支払い	▲290
アバール長崎外部配当	▲130



証券コード
6918

 **AVAL DATA CORPORATION**

A'VALue⁺

(個別)

3. 2018年3月期 個別業績報告

[期間：2017年4月1日～2018年3月31日]

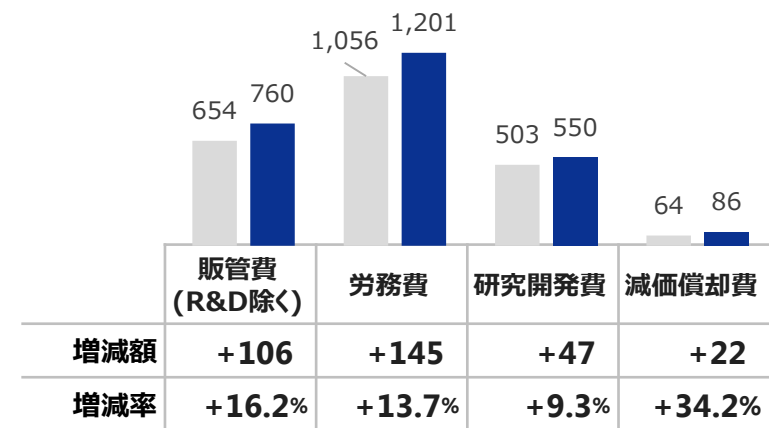
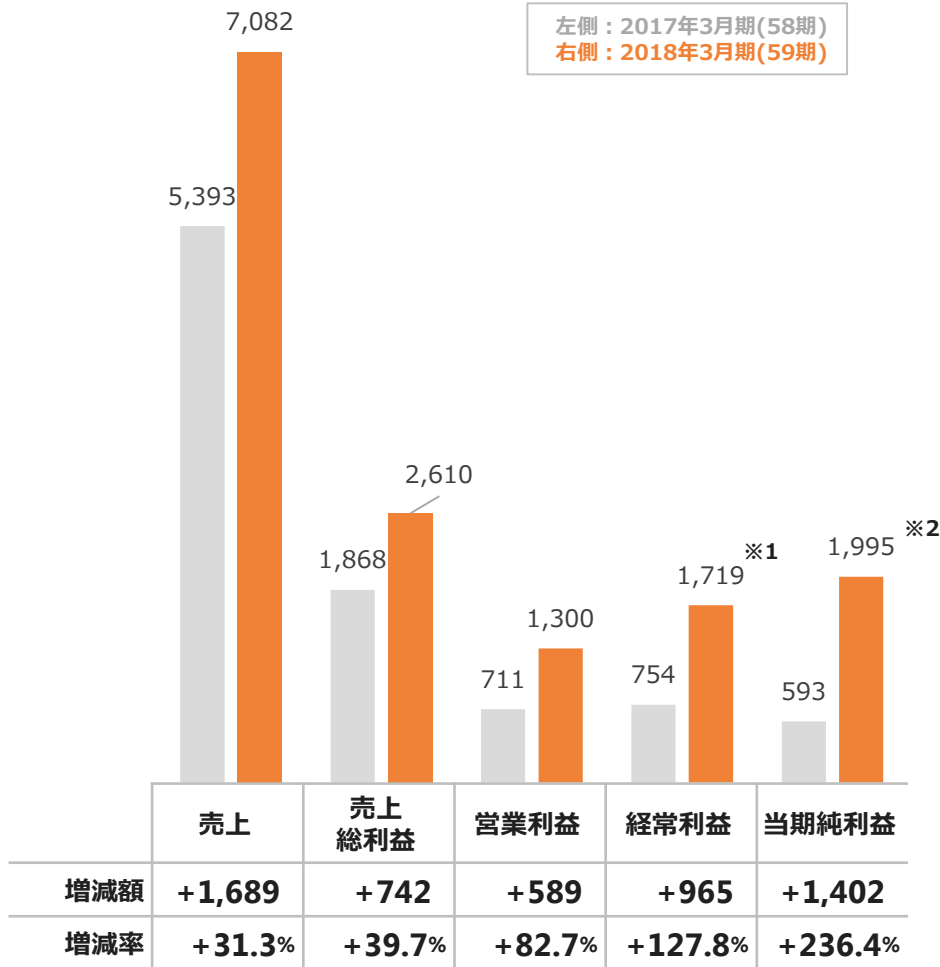
前年対比

売上・利益

経費

左側：2017年3月期(58期)
右側：2018年3月期(59期)

左側：2017年3月期(58期)
右側：2018年3月期(59期)

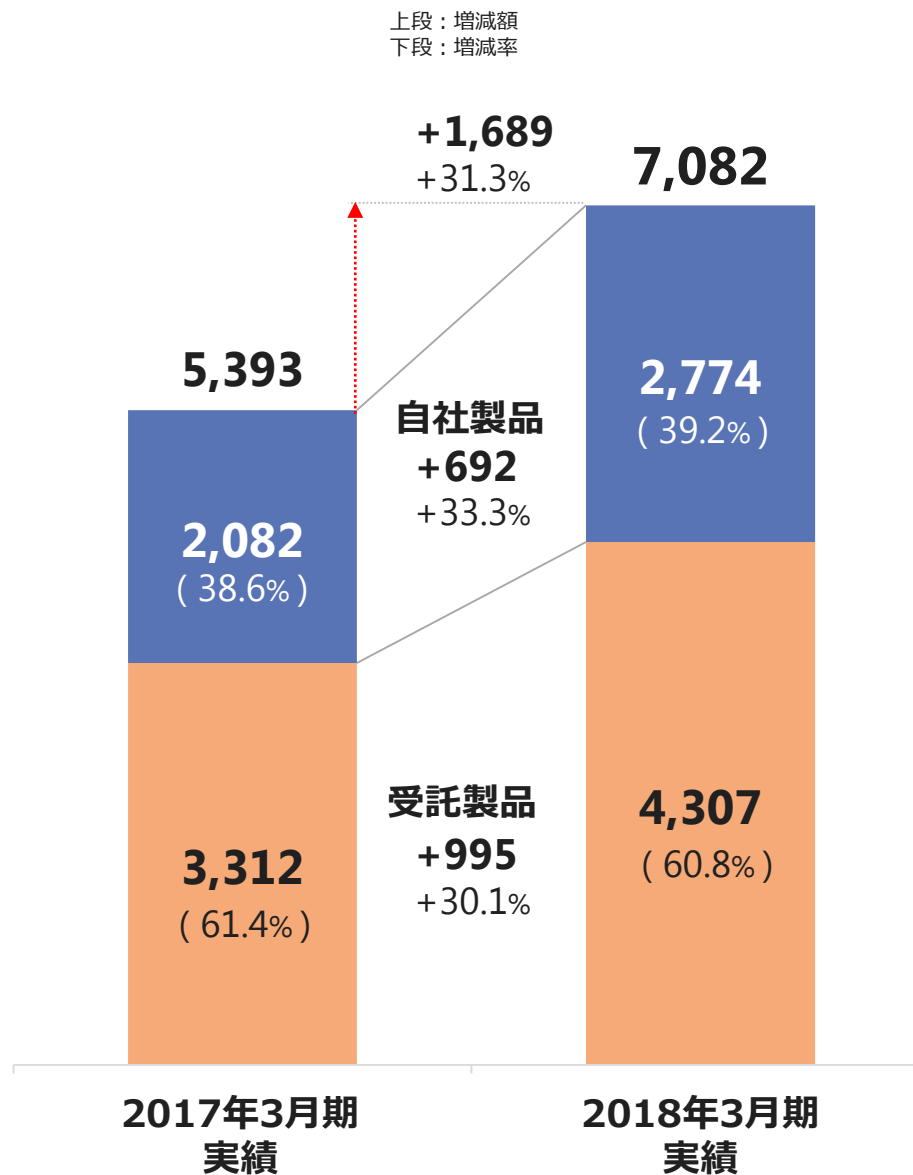


※1 受取配当金(営業外収益) 400百万円含む

※2 アバール長崎株式譲渡益(特別利益) 930百万円含む

上段：増減額
下段：増減率

グラフ内の()はセグメント別
売上の構成比



自社製品

組込みモジュール

FA全般及び医療機器関連における新規受注は堅調。

➡ 売上高 455百万円 (前年同期比 +67百万円 +17.2%)

画像処理モジュール

各種検査装置における積極的な新製品開発の推進に加え、検査工程の自動化ニーズの高まりにより、売上高は大幅に増加。

➡ 売上高 1,454百万円 (前年同期比 +451百万円 +45.0%)

計測通信機器

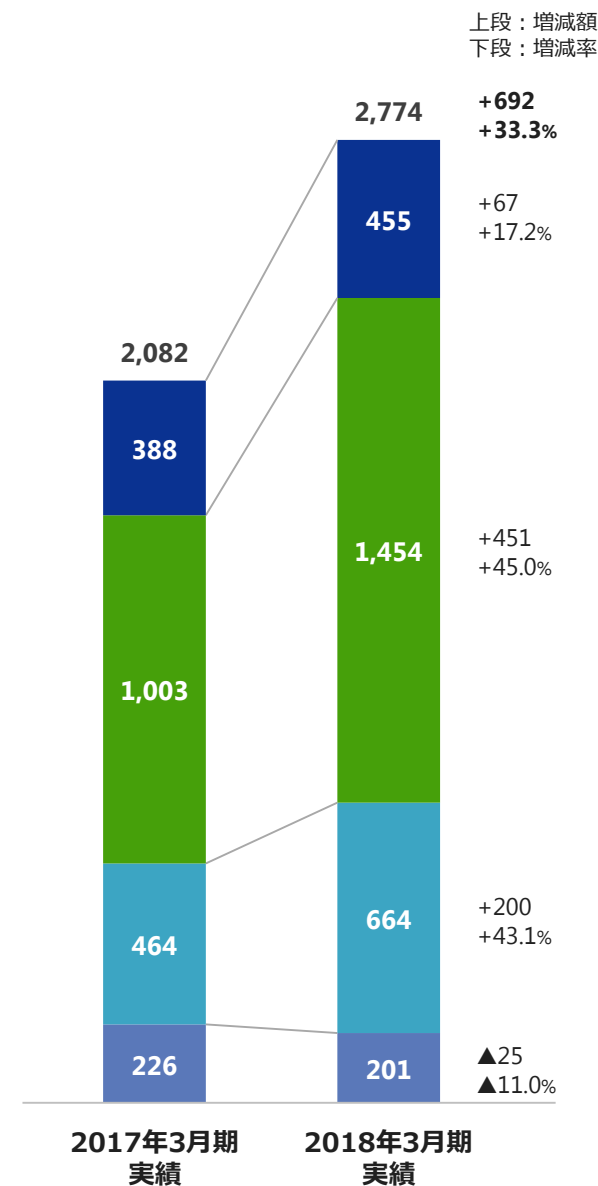
超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、新規検査装置向けの開拓が進展。

➡ 売上高 664百万円 (前年同期比 +200百万円 +43.1%)

商品 (自社製品関連)

前期に比べカスタム関連商品が減少。

➡ 売上高 201百万円 (前年同期比 ▲25百万円 ▲11.0%)



受託製品

● 半導体製造装置関連分野

大手半導体メーカーの3D-NAND向け設備投資が継続して拡大傾向にあり、売上高は大幅に増加。

➡ 売上高 3,680百万円 (前年同期比 +1,059百万円 +40.4%)

● 産業用制御機器分野

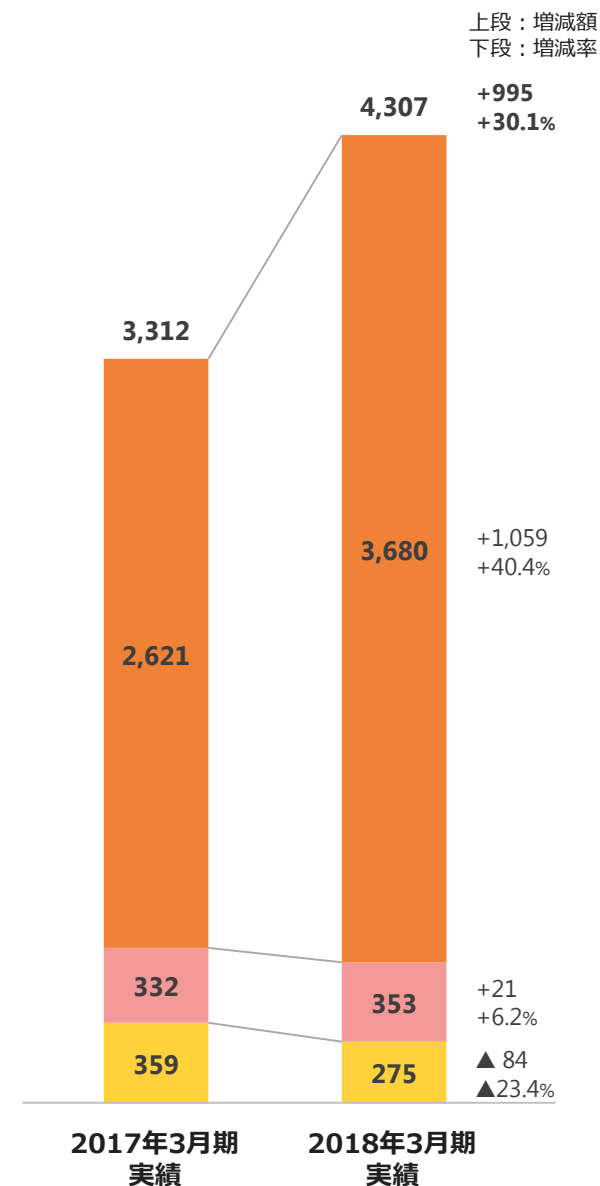
各種の産業用検査装置の新規展開は順調に進んだため、売上高は増加。

➡ 売上高 353百万円 (前年同期比 +21百万円 +6.2%)

● 計測機器分野

各種計測機器の需要は回復傾向にあるものの、売上高は減少。

➡ 売上高 275百万円 (前年同期比 ▲84百万円 ▲23.4%)

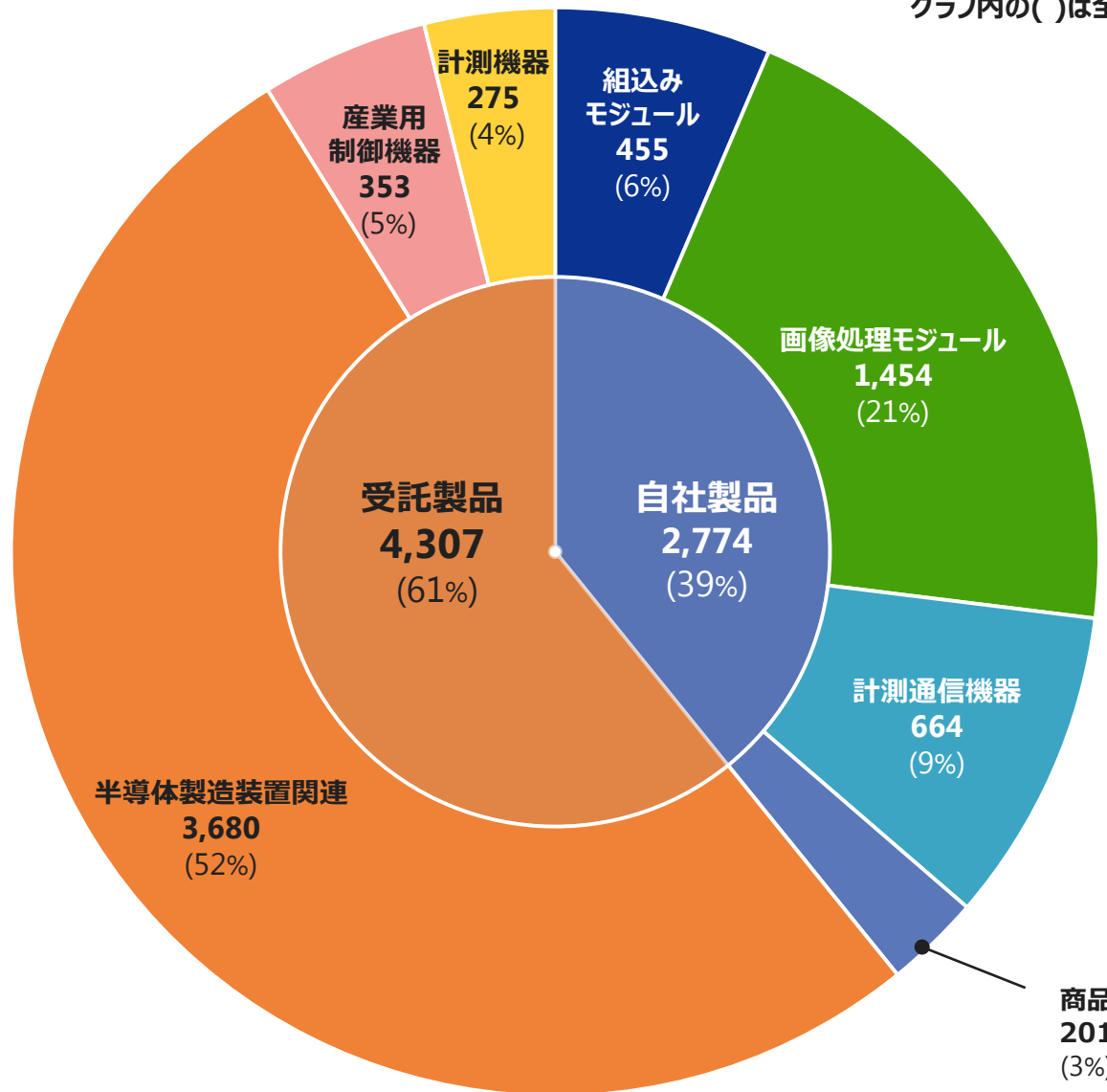


セグメント	品目	2018年3月期 (実績)	
		売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	455	+17.2%
	画像処理モジュール	1,454	+45.0%
	計測通信機器	664	+43.1%
	自社製品関連商品	201	▲11.0%
	小計	2,774	+33.3%
受託製品	半導体製造装置関連	3,680	+40.4%
	産業用制御機器	353	+6.2%
	計測機器	275	▲23.4%
	小計	4,307	+30.1%
	売上合計	7,082	+31.3%
	営業利益	1,300	+82.7%
	※1 経常利益	1,719	+127.8%
	※2 当期純利益	1,995	+236.4%

※1 受取配当金(営業外収益) 400百万円含む

※2 アバール長崎株式譲渡益（特別利益） 930百万円含む

グラフ内の()は全体売上に対する構成比



利益還元に関する考え方

- 安定的な配当にも考慮
- 配当性向35%を基本

配当の実施状況

年度	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	2019年3月期 予想
配当(円)	15	25	39	58 ^{※2}	56 ^{※3}
配当性向 ^{※1}	31.2%	36.5%	34.2%	53.6%	35.5%

※1 2018年3月期までは、連結配当性向です。

※2 内訳:中間配当21円及び創業60周年記念配当6円を含む期末配当37円

※3 内訳:中間配当28円及び期末配当28円



東証JASDAQ上場

証券コード
6918

 **AVAL DATA CORPORATION**

A'VALue⁺

(個別)

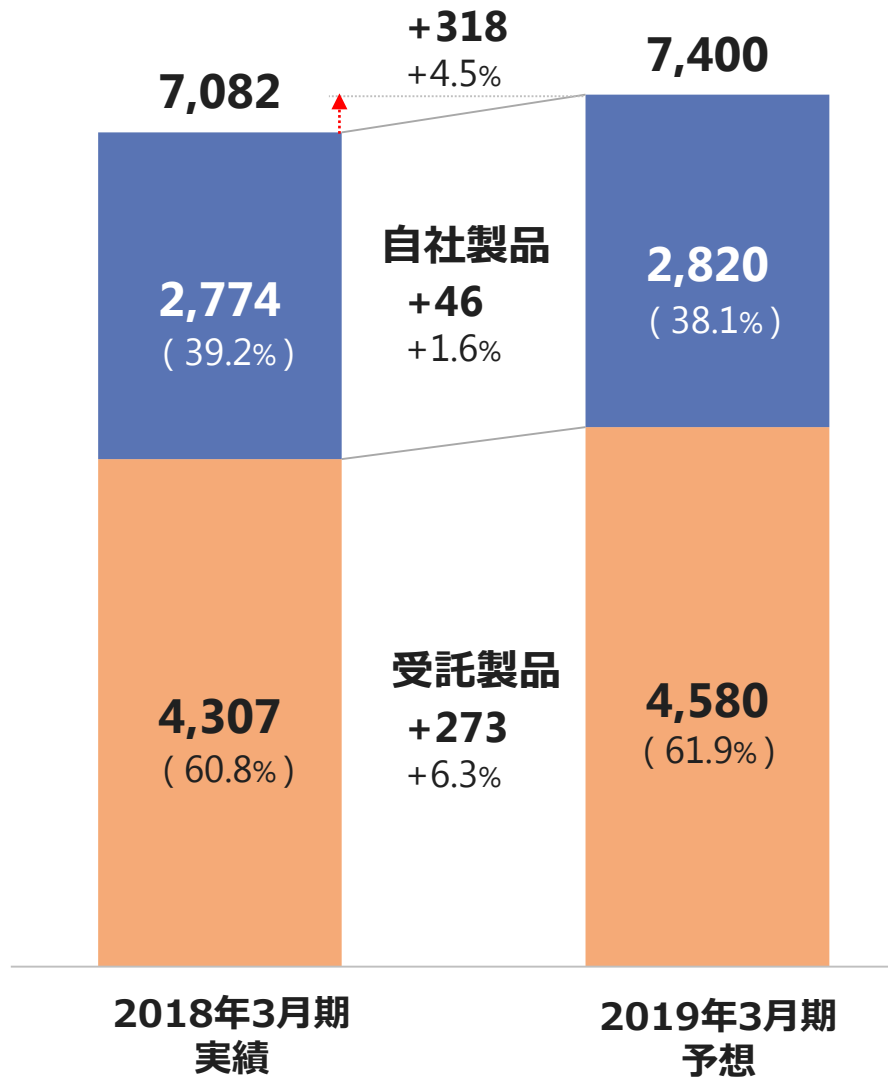
4. 2019年3月期 業績予想

[期間：2018年4月1日～2019年3月31日]

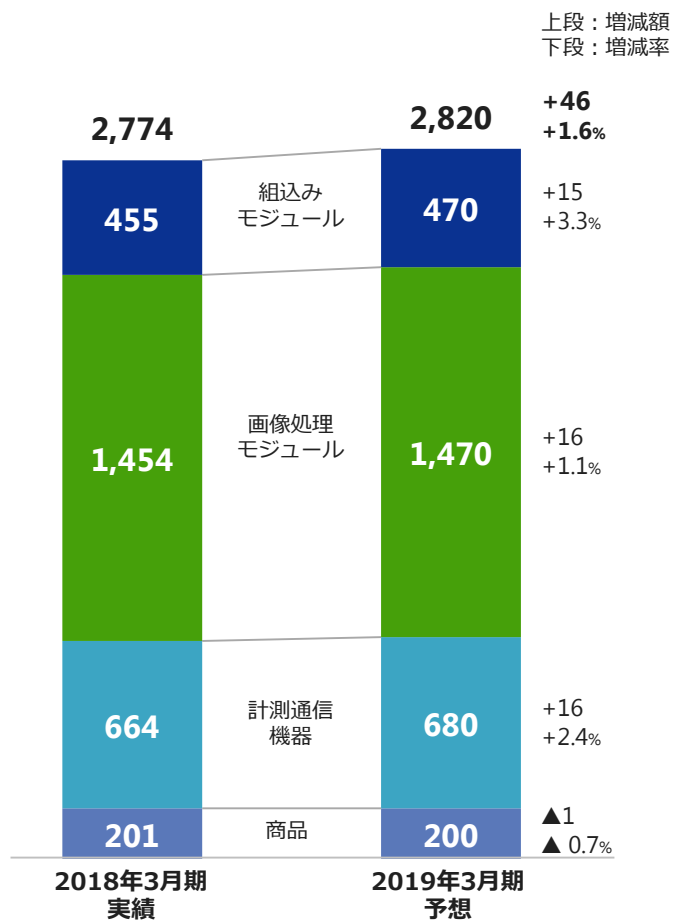
***2019年3月期より個別決算に移行**

上段：増減額
下段：増減率

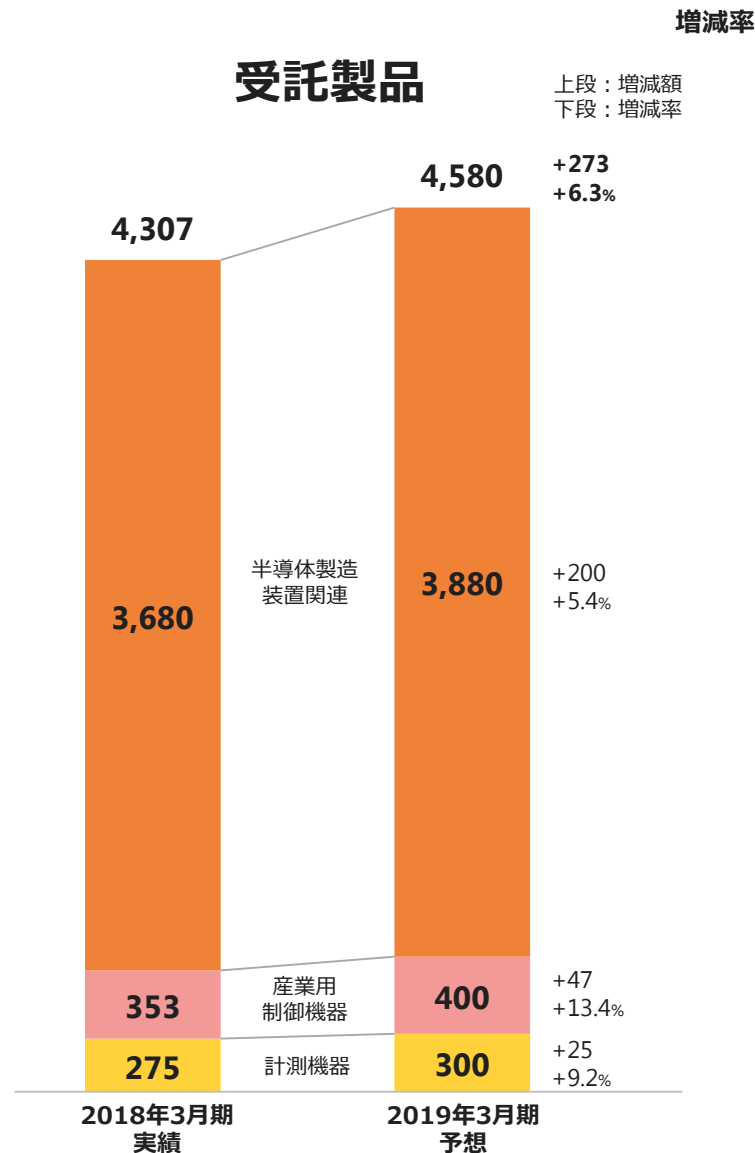
グラフ内の()はセグメント別
売上の構成比



自社製品



受託製品



セグメント	品目	2019年3月期 中間期		2019年3月期 通期	
		売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	220	+0.8%	470	+3.3%
	画像処理モジュール	730	+14.5%	1,470	+1.1%
	計測通信機器	360	+21.9%	680	+2.4%
	自社製品関連商品	100	+15.8%	200	▲0.7%
	小計	1,410	+14.0%	2,820	+1.6%
受託製品	半導体製造装置関連	1,940	+9.1%	3,880	+5.4%
	産業用制御機器	190	+14.6%	400	+13.4%
	計測機器	140	▲0.3%	300	+9.2%
	小計	2,270	+8.9%	4,580	+6.3%
	売上合計	3,680	+10.8%	7,400	+4.5%
	営業利益	675	+17.3%	1,360	+4.6%
	※1 経常利益	695	▲29.3%	1,390	▲19.1%
	※2 当期純利益	480	▲67.2%	960	▲51.9%

※1 2018年3月期中間期において受取配当金（営業外収益）400百万円計上

※2 2018年3月期中間期においてアバーン長崎株式譲渡益（特別利益）930百万円計上



証券コード
6918

 AVAL DATA CORPORATION

A'VALue+

5. 今後の展開

SaaS

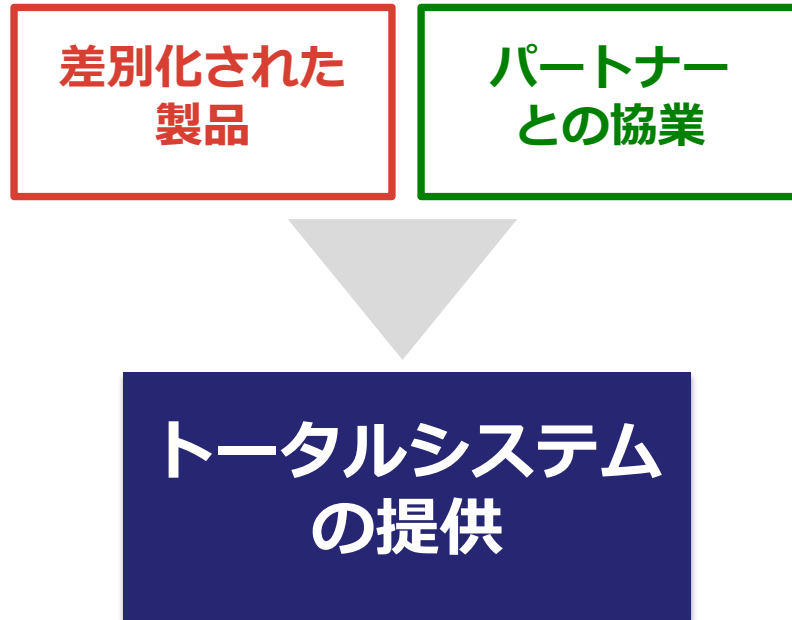
simple and speed

すべてにおいてシンプルに そして 迅速に

S a S

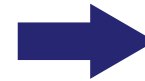
simple and speed

すべてにおいてシンプルに そして 迅速に

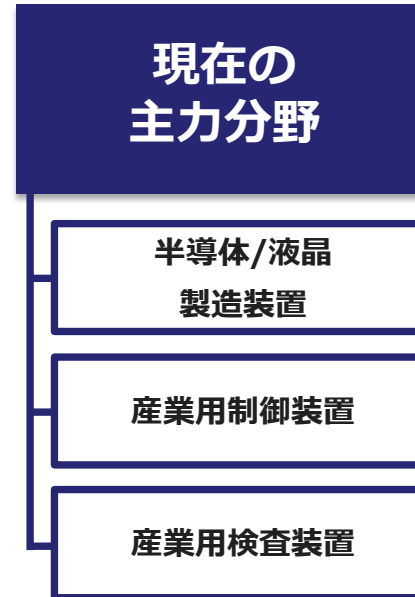


新分野への挑戦

主力分野



65% → 55%

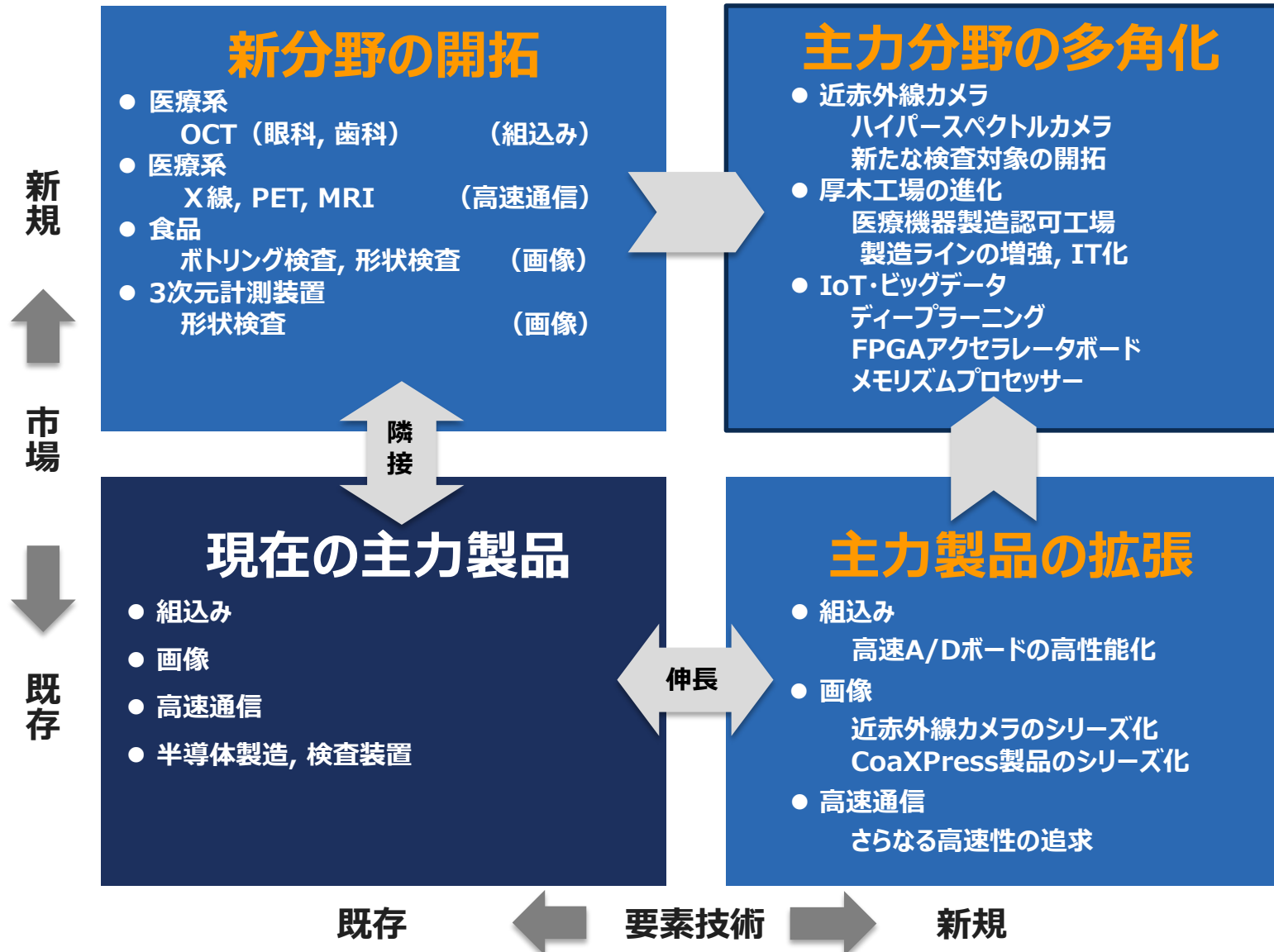


新しい分野



35% → 45%



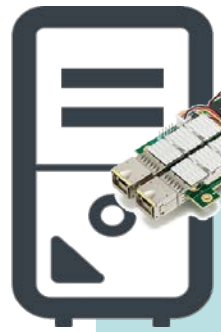




エッジコンピューティング



検査端末



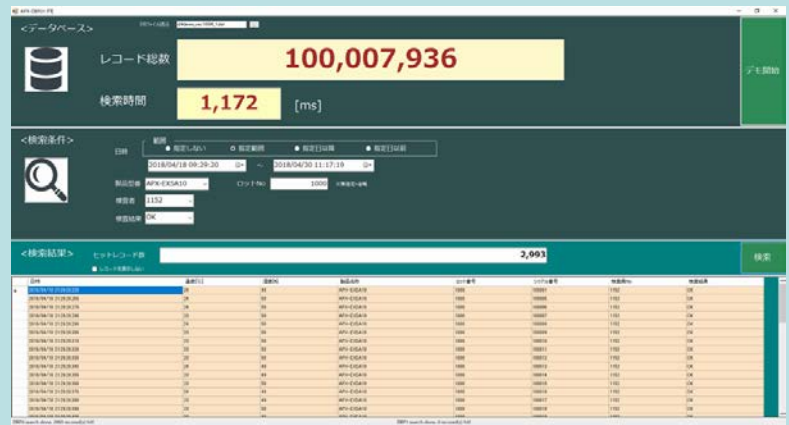
FPGAアクセラレーションボード

生産情報データベース

- ・ 検査結果等を全て記録
- ・ 履歴検索

過去の生産情報を検索。歩留まり改善によるコスト削減に

LAN



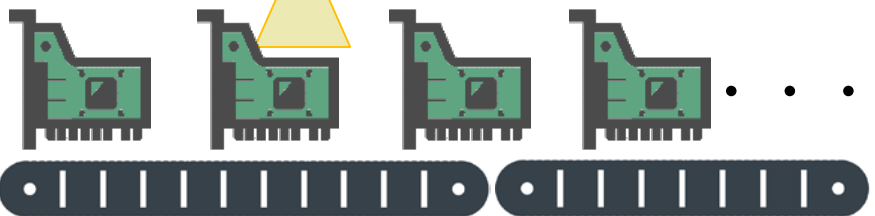
1億レコードを1.2秒で全検索

GPU搭載画像入力カード



Deep Learningによる不良検出

(協賛：コンピュータマインド社)



高速検索エンジン

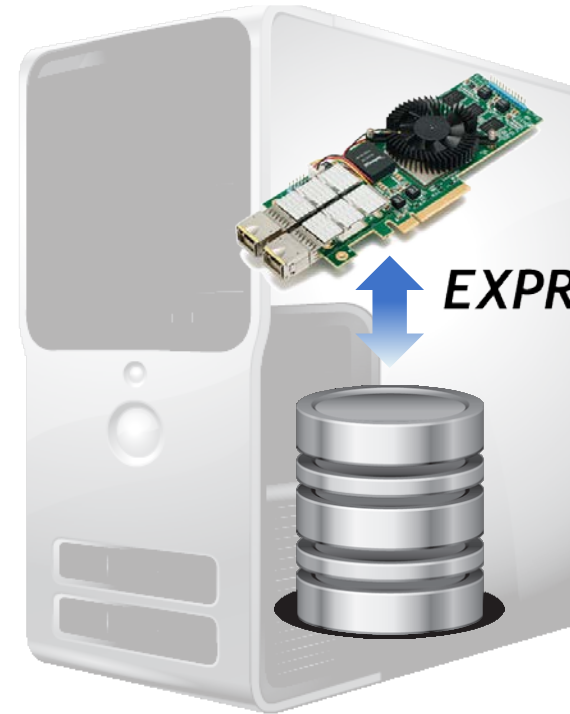
EXPRESSSEARCH



検索指示



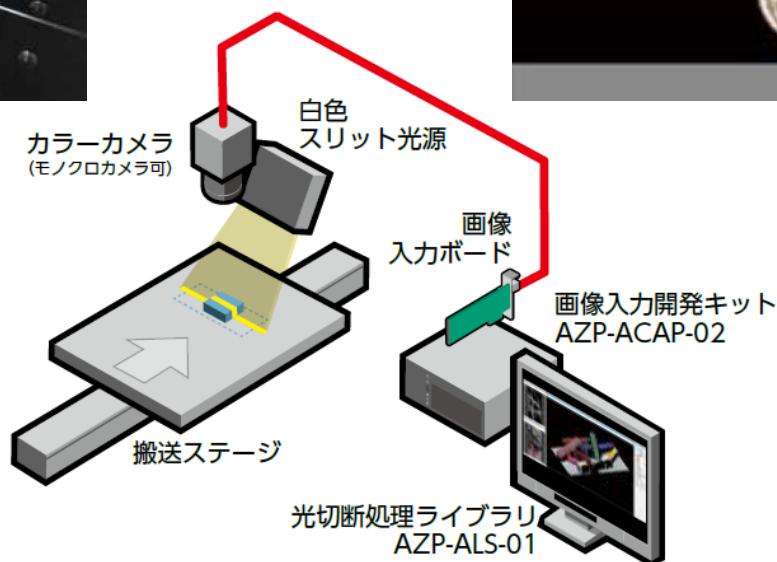
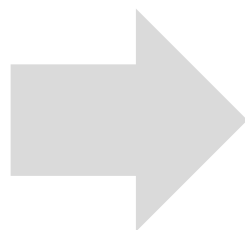
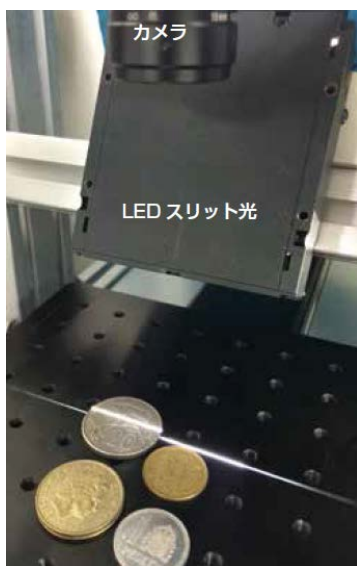
検索結果



EXPRESSSEARCH

データベースサーバー

カラー光切断法アルゴリズムのFPGA化によりCPU負荷なし

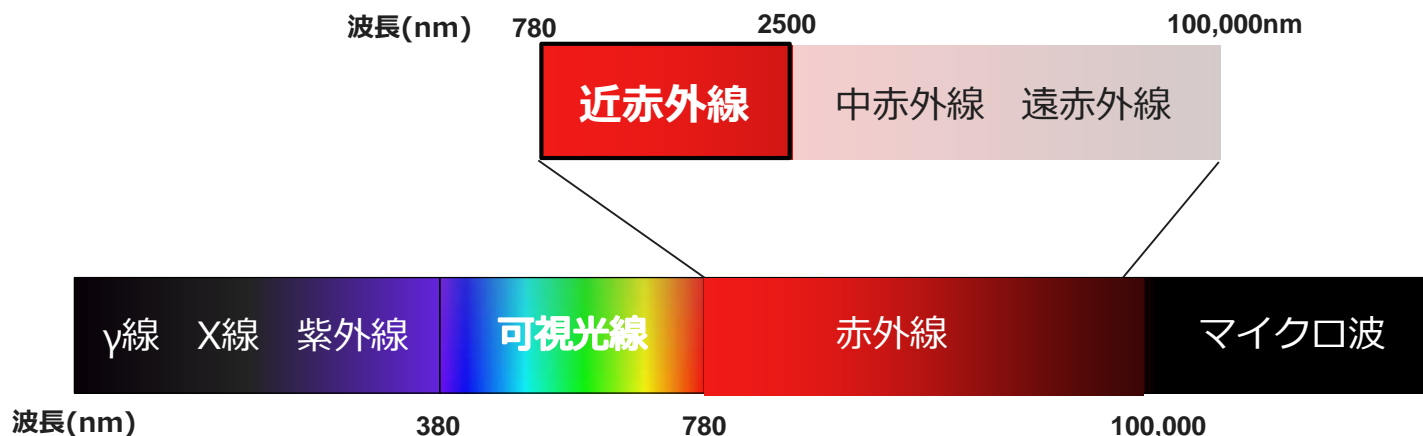


近赤外線の特徴

見えないものを、見ることができる

- ・ 一般的なカメラではとらえることのできない光
- ・ 被写体の成分の違いにより見え方が変わる

➡ **新たな検査環境の提供**



近赤外線カメラの用途

可視では確認できない評価・検査

- 異物混入検出
- 農作物の痛み具合の選別
- パッケージの不具合検査
- 半導体（シリコンウェハやチップ）検査
- その他



カラーカメラ



モノクロカメラ



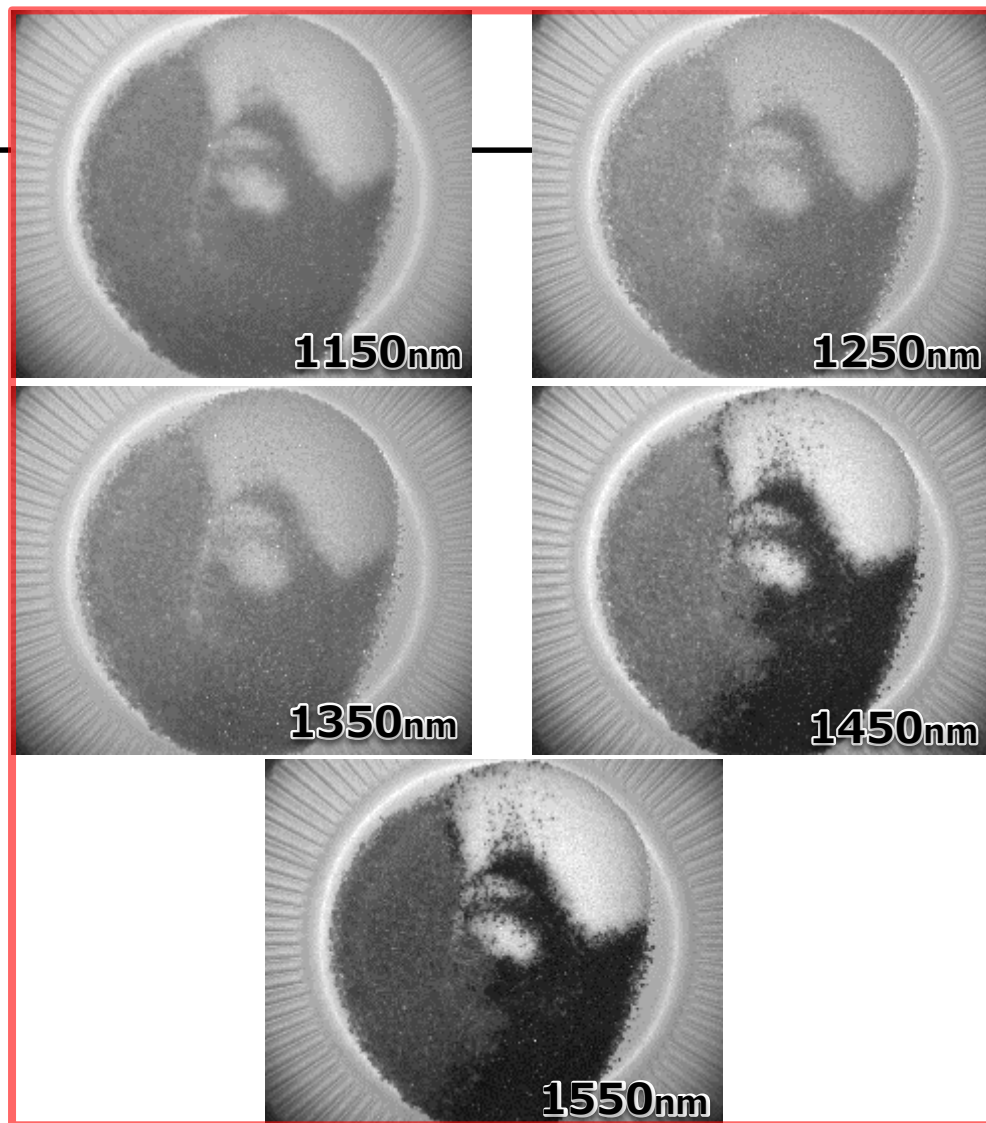
近赤外線カメラ

サンプル画像：同色粉末

混ざり具合



可視

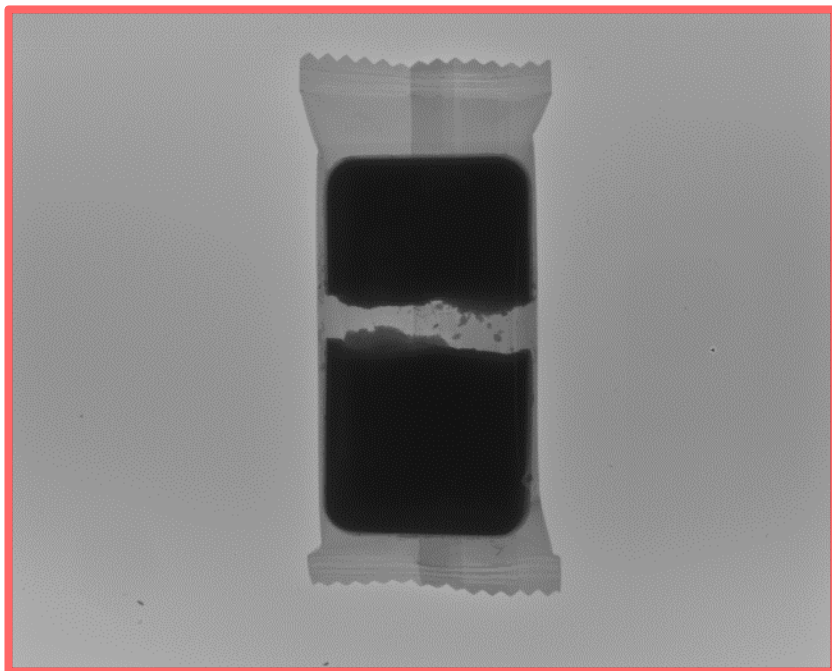


近赤外線

サンプル画像：食品包装

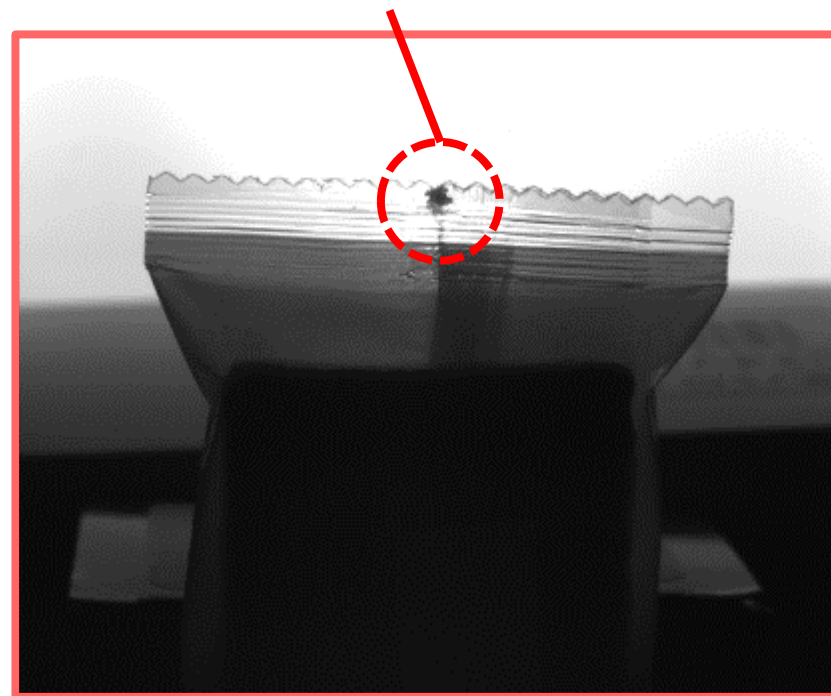
パッケージ内部破損や噛み込み

内部破損



近赤外線

噛み込み



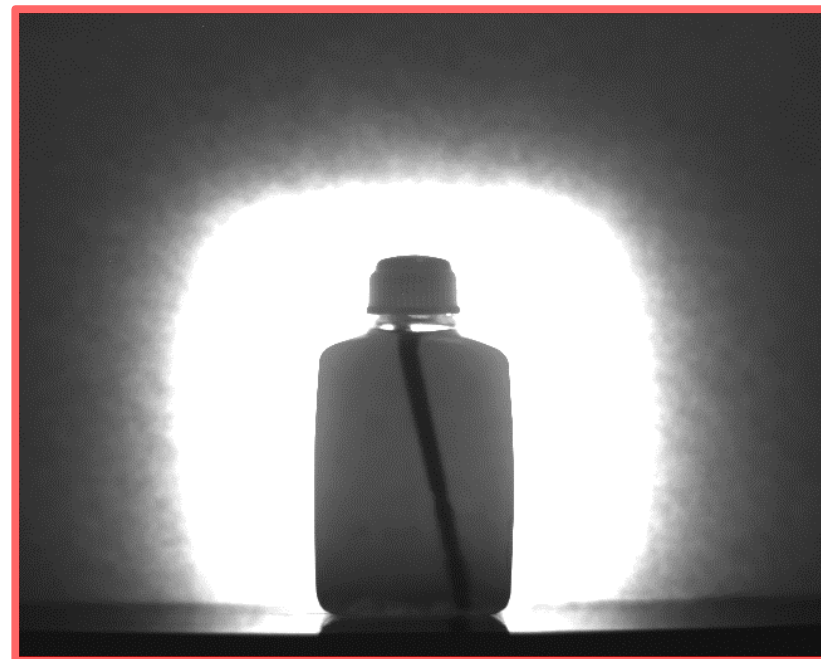
近赤外線

サンプル画像：醤油（異物）

異物の混入



可視



近赤外線

AI・ディープラーニングの活用

ディープラーニングを使った自動検査

近赤外線による撮影



ディープラーニングの
エンジン構築

アライアンス



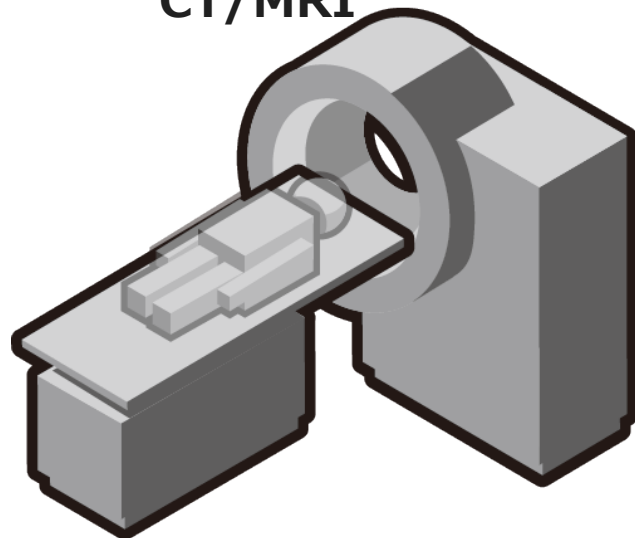
ソフトウェアメーカー

大学・研究所

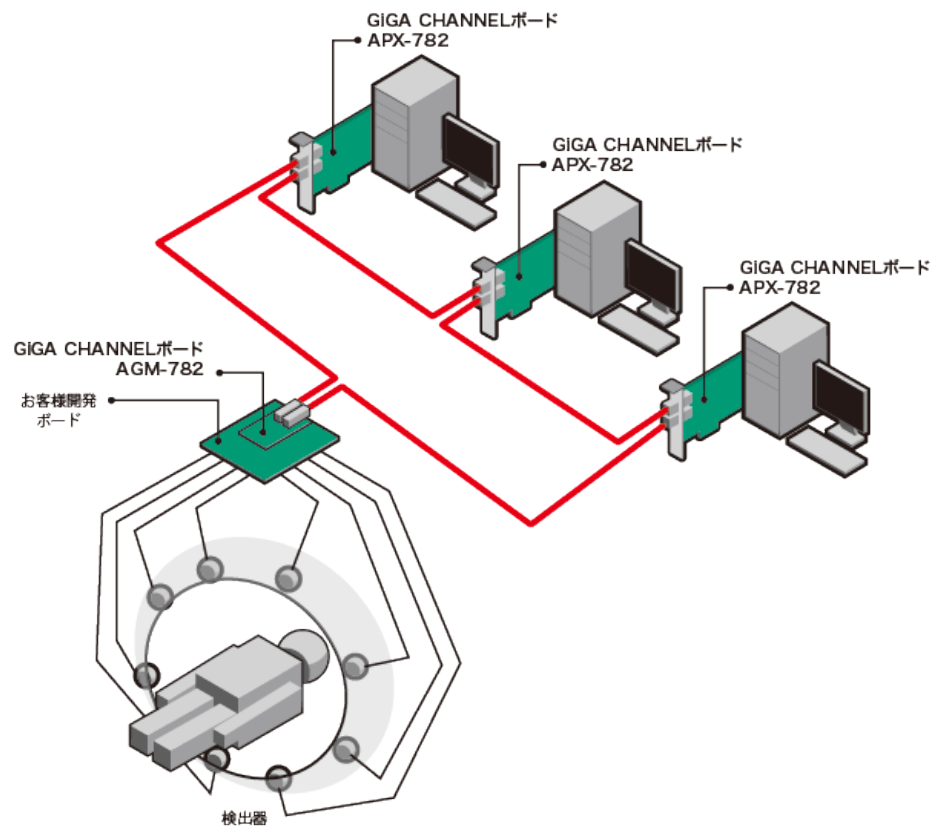


システム (GPU/FPGA)
として提供

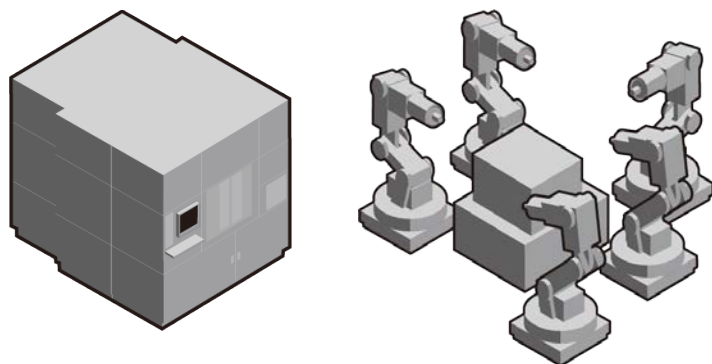
CT/MRI



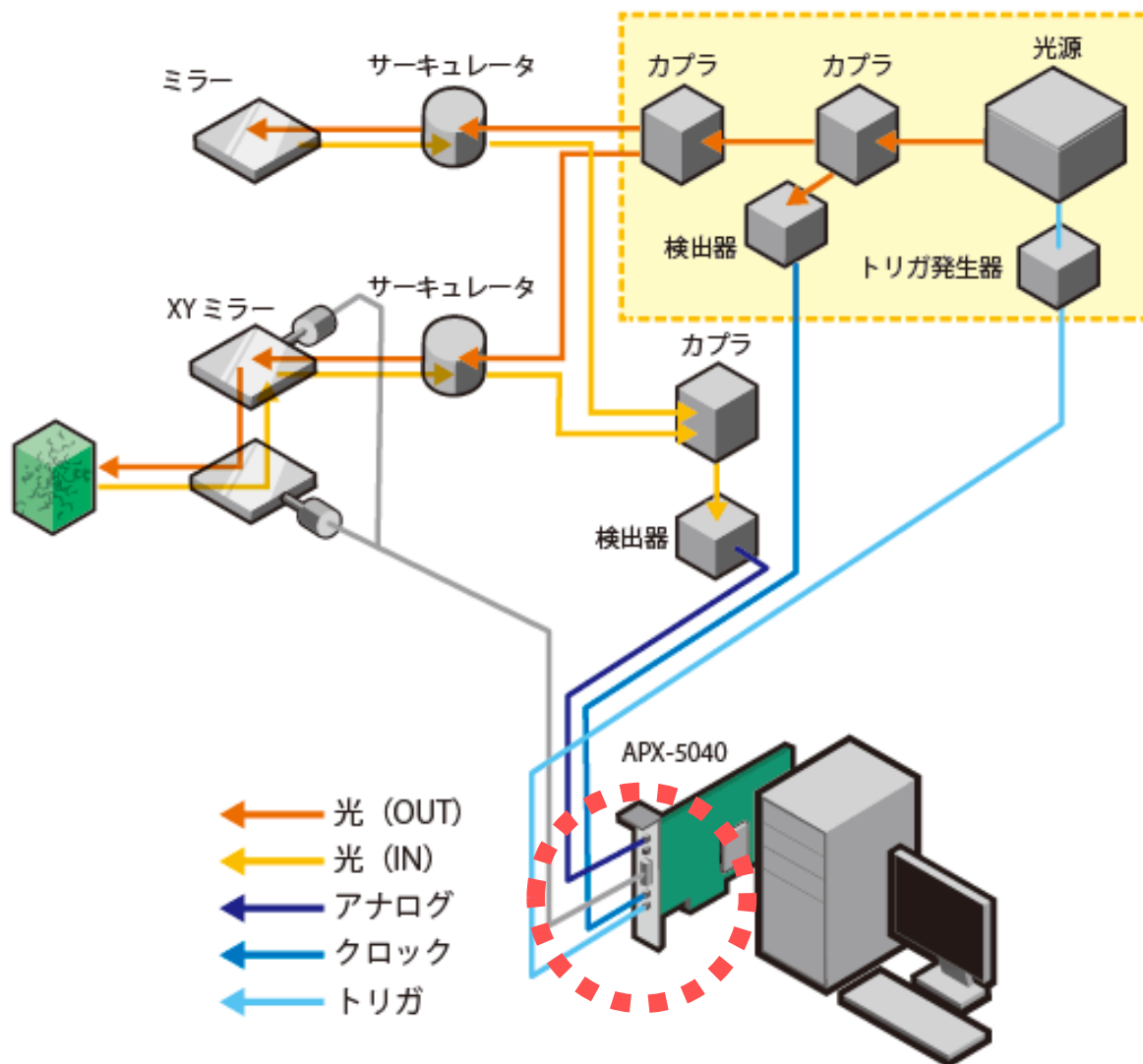
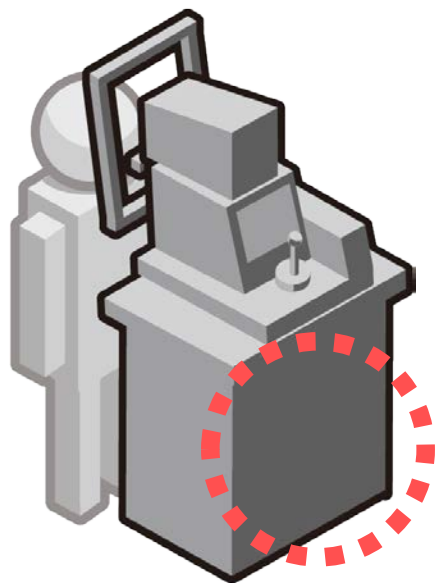
医療装置



製造装置



医療装置・OCT



新たな飛躍

成長事業の確立（新分野への挑戦）

近赤外線・医療・IoT・ビッグデータ

体質強化（スリムな企業体質）

少数精鋭・協業パートナーとの連携強化

生産性の拡大（微細化、多品種）

製造ラインの増強, IT化

売上

80億円

経常
利益率

18.0%
以上

ROE

8%

配当
性向

35%

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。

<http://www.avaldata.co.jp>

 **AVAL DATA CORPORATION**